

令和6年度
美瑛町町勢要覧

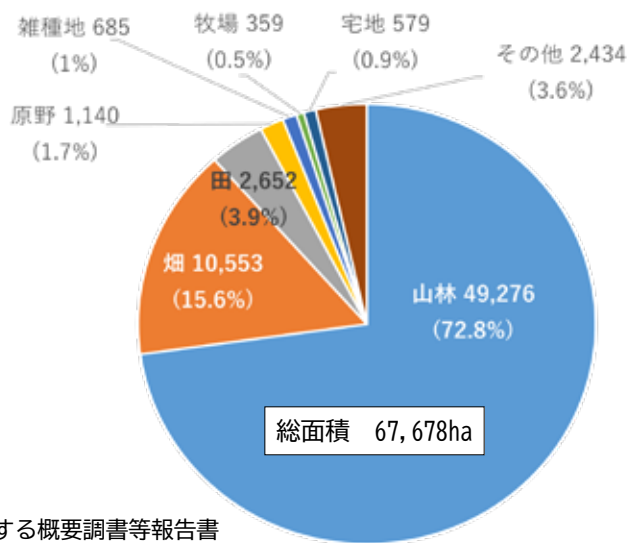
◎位置・面積

北緯 43 度 35 分・東経 142 度 28 分の北海道のほぼ中央に位置し、旭川市・芦別市・東神楽町など 2 市 6 町に隣接しています。地勢は波状丘陵を呈し、畑が開けています。地質は東部山麓が石英粗面岩質、西部が湖成洪積土壌ですが、大部分を河成沖積土壌が占めています。

気象は、年の平均気温は 5.9℃、年間降水量は約 1,000mm となっており、寒暖の差が激しい内陸性の気候で、明確な春夏秋冬の美しい自然に恵まれています。



図1 土地の利用状況（地目別面積）



資料：令和6年度土地に関する概要調査等報告書

◎人口

第5次美瑛町まちづくり総合計画では、足腰の強い産業の育成による雇用の創出に努めるとともに、従来から継承してきた町民の幸福の創造を目的としたまちづくりを進め、令和7年（2025）には、9,300人程を維持できる規模を目標としています。

なお、令和6年3月31日現在の人口は、9,341人となっています。

図2 男女別人口（人）

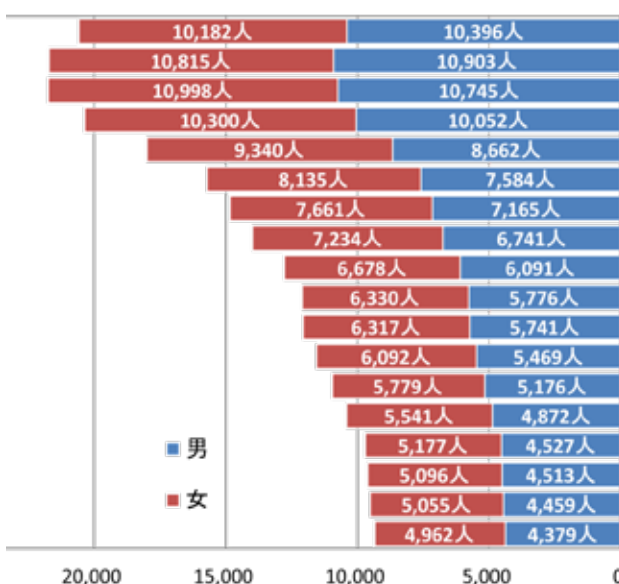
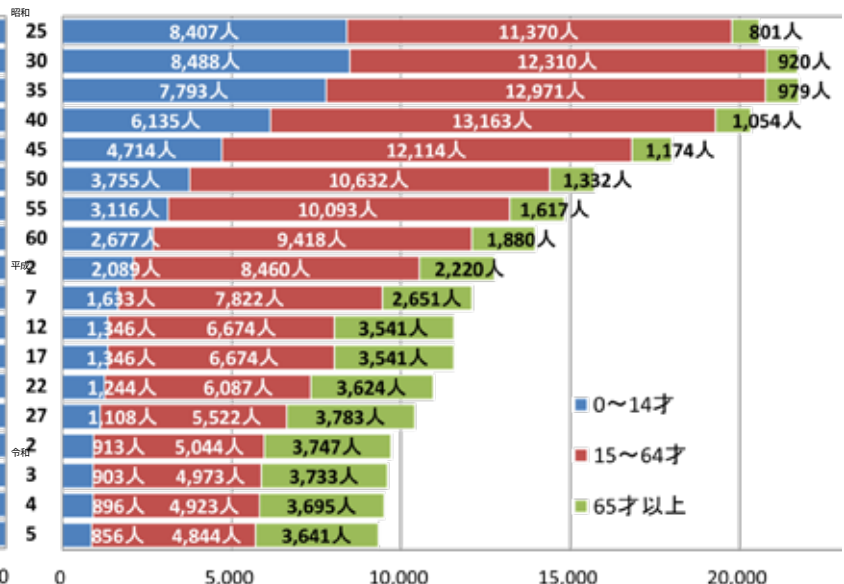


図3 年齢別人口（人）



◎財政

表1 各会計予算集計表(令和6年度6月補正後予算)

会計区分		予算額	
一般会計		11,360,000千円	
特別会計	老人保健施設事業特別会計	110,914千円	
	農業研修施設事業特別会計	千円	
	白金泉源事業特別会計	19,720千円	
	計	130,634千円	
企業会計	水道事業	収益的支出	305,474千円
		資本的支出	286,207千円
	小計	591,681千円	
	公共下水道事業	収益的支出	453,084千円
		資本的支出	108,333千円
	小計	561,417千円	
	水力発電事業	収益的支出	73,998千円
		資本的支出	1千円
			73,999千円
	病院事業	収益的支出	1,179,348千円
		資本的支出	175,968千円
	小計	1,355,316千円	
計	2,582,413千円		
合計	14,073,047千円		

図4 一般会計予算額の推移(単位:千円)

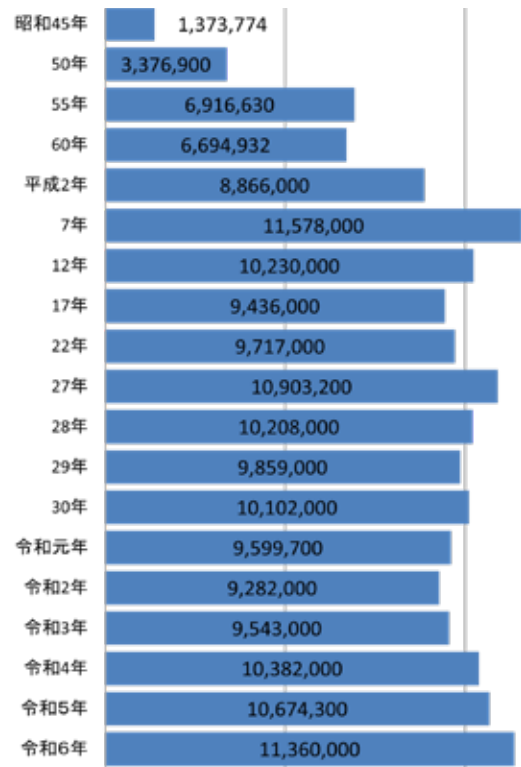
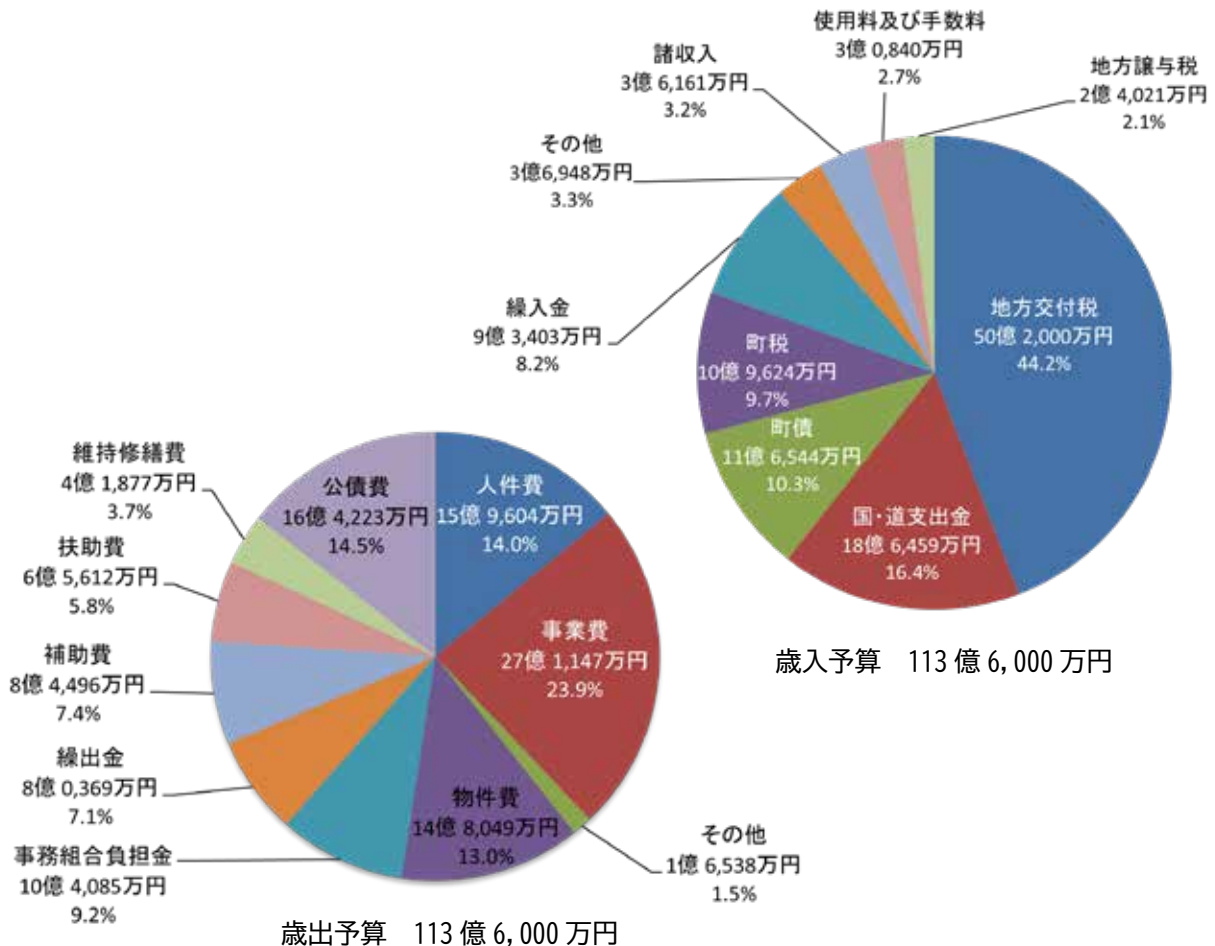


図5 令和6年度一般会計予算



◎行政

表2 住民組織（令和6年3月31日現在）

行政区	郊外町内会			市街地町内会		
	会数	班数	会員数	会数	班数	会員数
32	92	138	1,066	37	206	2,857

表3 町職員（令和6年4月1日現在）

	町長部局	議会事務局	監査委員事務局	農業委員会事務局	選挙管理委員会事務局	教育委員会
定数	238（内85は町立病院）	4	1	4	1	27
現員数	187（内61は町立病院）	3	兼3	3	兼7	25

表4 選挙人名簿登録人数（令和6年3月31日現在）

	男	女	合計
人数	3,829	4,352	8,181

図6 議会構成

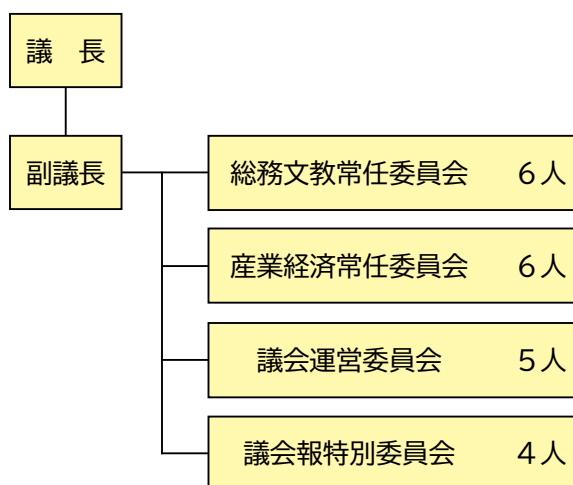
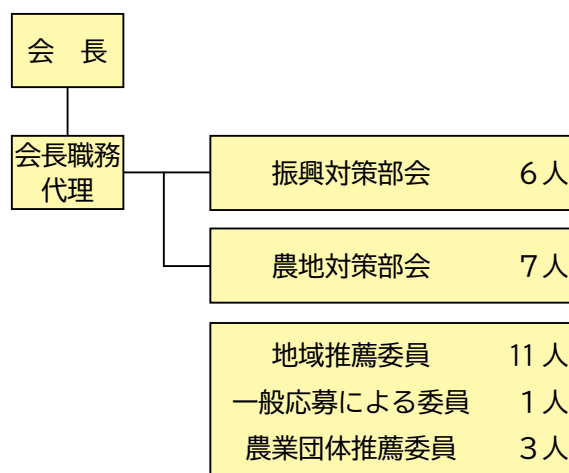


図7 農業委員会構成



◎機構図（令和6年7月1日現在）

図8 美瑛町機構図

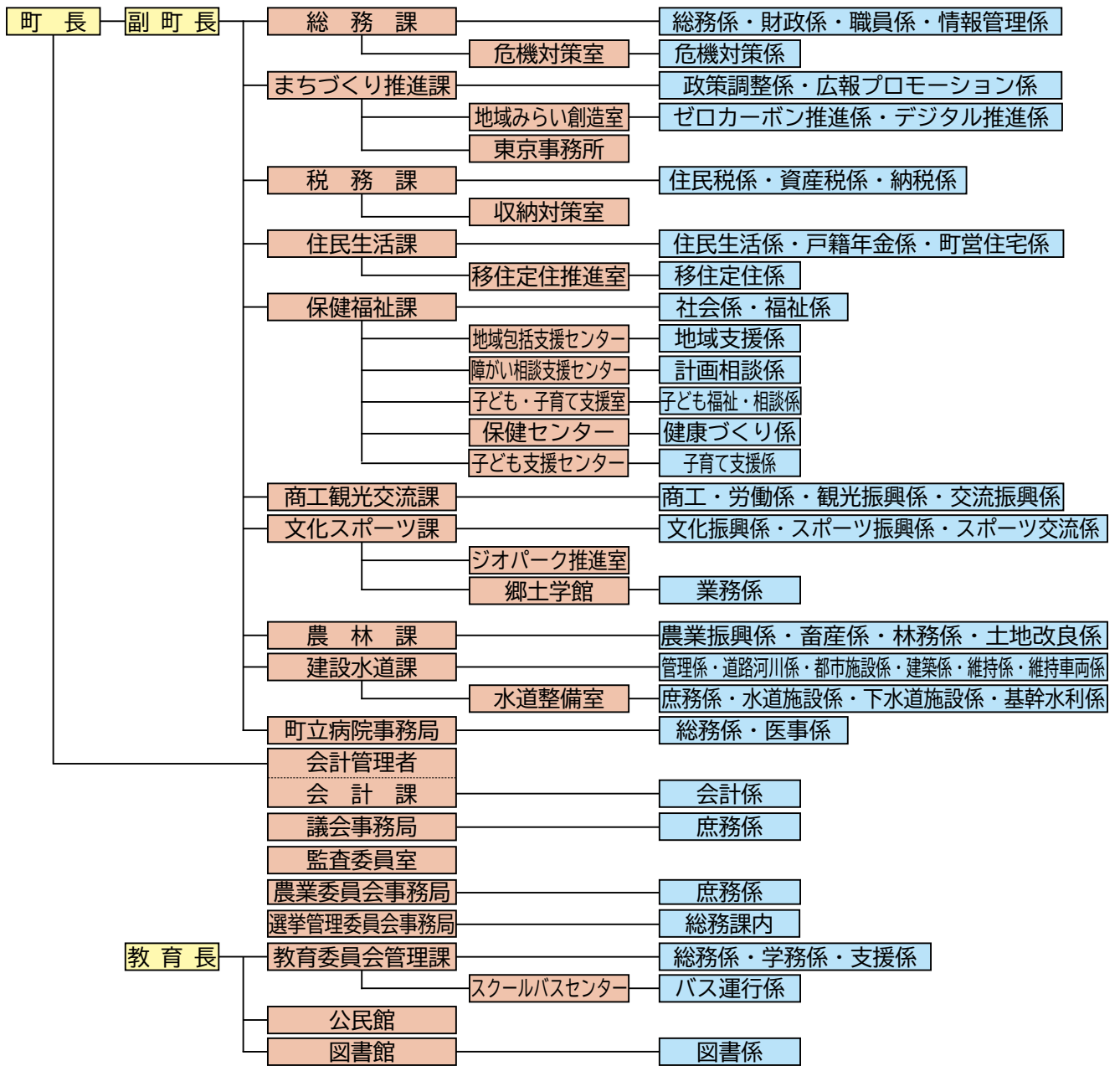


図9-1 一部事務組合機構図 (美瑛・東川・東神楽3町で構成)

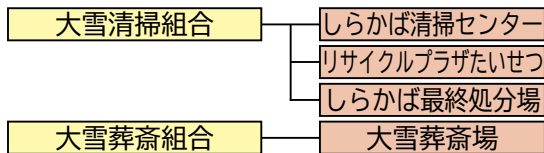


図9-2 一部事務組合機構図 (美瑛・東川・東神楽・当麻・比布・愛別6町で構成)

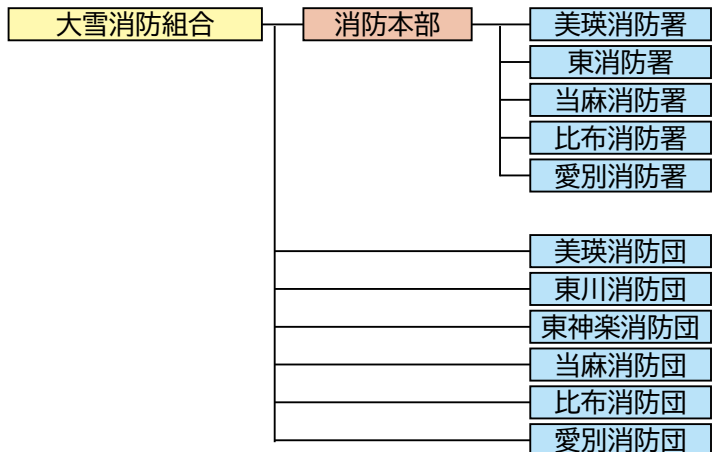
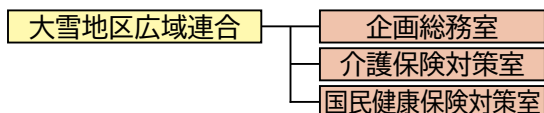


図10 広域連合機構図 (美瑛・東川・東神楽3町で構成)



◎農林業

美瑛町の農業は、畑作と稲作により発展してきましたが、近年では水田の転作による施設野菜や高収益作物の栽培も盛んとなり、田・野菜複合や畑・野菜複合などの複合経営も多くなっています。独特の波状丘陵の台地に畑が広がり、丘陵をぬって流れる河川流域が水田地帯となっているのが特徴で、国土や環境の維持・保全機能は勿論のこと、人の心に癒しや安らぎを与える美しい農村景観を目的に多くの人を訪れるようになり、観光資源としても、本町の地域経済の基盤として大きな役割を果たしています。



しかし、本町においても農業者の高齢化は深刻な問題となっており、さらに担い手・後継者不足や離農により、農家戸数が減少するなど、遊休農地の発生や地域社会・集落機能の低下が危惧されています。これらの課題を解決するため、新規就農者向けの支援やスマート農業の導入、農福連携の取組等を進めています。

表5 農業経営体数の推移

年代	法人経営体	個人経営体
平成17年	17	591
平成22年	28	529
平成27年	40	459
令和2年	44	362

図11 経営規模（令和2年）

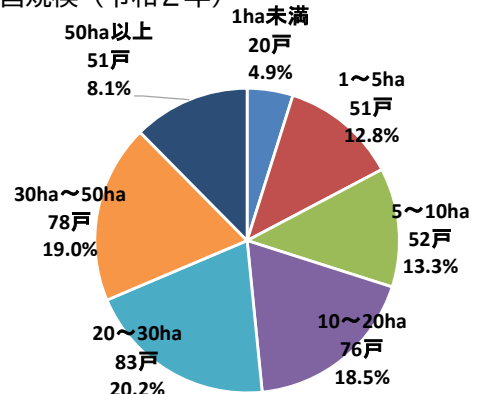


表5・図11 資料：農林業センサス

図12 耕地面積（令和6年3月現在） 資料：北海道農林水産統計年報

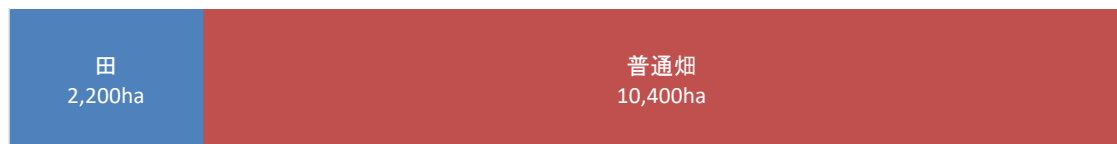


図13 主要作物の作付状況（令和6年3月現在） 資料：区域内農業生産実績（JA）



図14 農業生産額（令和5年度）（百万円） 資料：区域内農業生産実績（JA）



図15 飼育頭数（令和6年2月現在）（頭・羽）

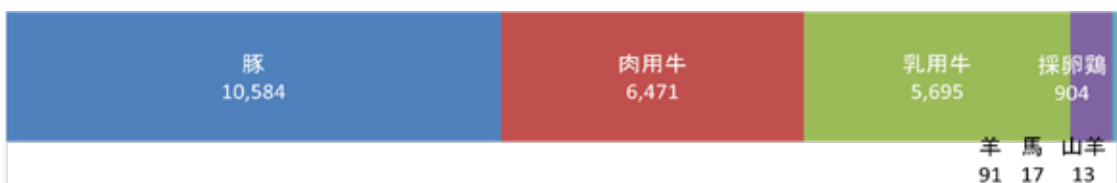


表6 農業ダム施設一覧表（令和6年4月1日現在）

ダム名	河川名	所在地	事業目的	施工年	流域面積 (km ²)	総貯水量 (千 m ³)	有効貯水量 (千 m ³)	常時満水位 (m)	湛水面積 (km ²)	堤高 (m)	堤長 (m)	形式	受益面積 (ha)	関係市町村
聖台	美瑛川 宇莫別川	中宇莫別	かんがい	昭和 12年	57.10	3,999	3,981	278.2	0.510	29.7	485.4	アース ダム	1,022	旭川市 東神楽町
水沢	美瑛川 水沢川	水沢	かんがい	昭和 39年	3.10	945	906	303.5	0.220	14.5	125.2	アース ダム	483	美瑛町 旭川市
しろがね	美瑛川 オヤウンナイ川	白金	かんがい	平成 4年	直接流域 6.00 間接流域 67.00	6,800	6,664	512.5	0.485	63.5	611.0	フィル ダム	水田 158 畑 7,294	美瑛町 上富良野町 中富良野町
新区画	美瑛川 置杵牛川 ニタチバウマナイ川	新区画	かんがい	昭和 49年	直接流域 5.10 間接流域 38.50	5,600	5,223	291.6	0.455	32.3	274.7	アース ダム	水田 1,280 畑 204	旭川市 東神楽町 美瑛町

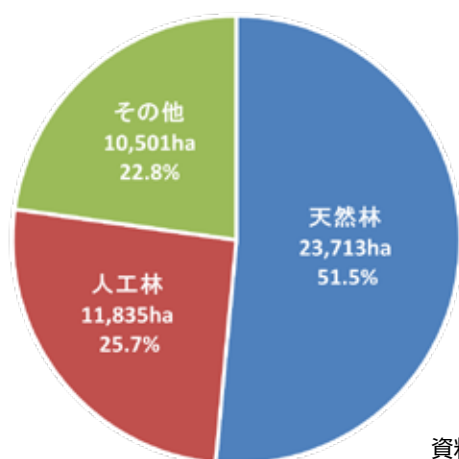
林業では、森林面積が全町の約7割を占め、その約1/3が民有林であり、この多くが人工林となっています。

森林は、木材生産に限らず、生物の多様性や温暖化防止等の環境形成・土砂災害防止といった多面的機能を有しており、これらを持続的に機能させるためには、適切な森林整備が必要です。

美瑛町の民有林は適切な森林管理を行っており、令和元年に持続可能な森林と認められ、SGEC森林認証[※]を取得しました。



図16 森林面積 (ha) (令和6年4月現在)



資料：北海道林業統計



※SGEC森林認証制度については、SGEC「緑の循環」認証会議ホームページを参照ください。
一般社団法人緑の循環認証会議【<http://sgec-eco.org/>】

◎商工業

豊富な農産物と観光資源を基礎として、農業や観光産業はもとより、多くの商工業が営まれてきました。しかし、人口減少や後継者不足、商圈拡大による消費の流出など、厳しい状況が続いています。

こうした中、地域活性化を目指して整備された「丘のまち交流館 bi.yell」では、施設を利用した催しの開催、魅力ある多彩な展示による集客、美瑛ブランドの創出等に取り組んでいます。また、町内2カ所の道の駅を活用し、中心市街地と観光エリアの人の流れを活性化するとともに電子地域通貨「Be コイン」の普及による町内消費の拡大が期待されます。



表7 商工業の状況

区 分	平成 30 年度			令和 3 年度		
	事業所数	従業員数 (人)	販売額 (百万円)	事業所数	従業員数 (人)	販売額 (百万円)
A～B 農林漁業	26	231	4,275	35	343	6,370
C 鉱業、採石業、砂利採取業	1	2	—	0	0	—
D 建設業	32	289	—	27	263	—
E 製造業	31	382	7,122	24	289	17,840
F 電気・ガス・熱供給・水道業	1	4	—	1	5	—
G 情報通信業	1	5	—	1	5	—
H 運輸業、郵便業	16	306	—	12	338	—
I 卸売業、小売業	123	797	15,882	115	745	20,451
J 金融業、保険業	3	32	—	5	37	—
K 不動産業、物品賃貸業	12	19	729	11	27	57
L 学術研究、専門・技術サービス業	12	29	868	9	23	226
M 宿泊業、飲食サービス業	104	521	2,650	92	431	1,497
N 生活関連サービス業、娯楽業	34	72	383	31	78	484
O 教育、学習支援業	10	46	—	8	27	—
P 医療、福祉	28	299	1,462	25	453	1,275
Q 複合サービス事業	7	107	—	6	178	—
R サービス業(他に分類されないもの)	28	220	—	27	195	—

◎建設

美瑛町の町道は、沢地を通り市街地と集落を連結する道路、丘陵地帯の高台を通り集落と耕地を結ぶ道路、沢と沢とを横断し集落を結ぶ道路に大別され、510路線655.5kmを有していますが、地域が広大であることと地理的要因により改良率は67.9%（445.3km）、舗装率は51.0%（334.0km）となっています。

水道施設が整備されているのは、本町地区（市街地から旭・下宇莫別地区）、白金地区（白金から置杵牛）、平和地区（美沢から瑠辺薬）、五稜地区（五稜から旭地区の一部）となっています。公共下水道事業は、昭和49年度に基本計画が立案され、昭和51年度に着手して以来、処理普及率は67.9%となっています。

表8 町道

（令和6年3月31日現在）

路線数	実延長 (m)	改良済 (m)	未舗装道 (m)	舗装道 (m) セメント系	舗装道 (m) アスファルト系	簡易舗 (m) アスファルト系	舗装合計
510	655,543	445,392 (67.9%)	321,540 (49.0%)	6,564 (1.0%)	110,488 (16.9%)	216,949 (33.1%)	334,001 (51.0%)

表9 橋梁

橋梁数	延長 (m)	面積 (㎡)	永久橋		
			橋梁数	延長 (m)	面積 (㎡)
164	3,544	27,134	164	3,544	27,134



表10 上水道の状況

項目		
行政区域内人口	(人)	9,341
給水区域内人口	(人)	8,959
給水人口	(人)	8,340
給水戸数	(戸)	4,314
普及率	(%)	93.0
年間有収水量	(㎥)	1,029,968
1日平均有収水量	(㎥)	2,814
管路布設総延長	(km)	317
浄水場施設	(力所)	5

表11 公共下水道の状況

項目		
計画処理区域	(ha)	368
雨水管渠延長	(m)	53,960
汚水管渠延長	(m)	67,270
計画人口	(人)	6,100
行政区域内人口	(人)	9,341
処理区域内人口	(人)	6,345
行政人口普及率	(%)	67.9
処理区域内水洗普及率	(%)	98.0

◎福祉

表 12 国民年金の状況

	被保険者数				受給者（拠出）	受給者（福祉）	
	総数	1号	任意	3号	総数	総数	給付
令和5年度	1,725	1,303	36	386	3,791	0	0

◎保健衛生

表 13 医療施設の状況

	病院	診療所	病床	歯科	薬局	保健センター
令和5年度	1	1	98	4	5	1

表 14 ごみ収集と処理の状況（令和5年度）

区分	収集車搬入量		一般車搬入量		合計		備考
	台	重量 (kg)	台	重量 (kg)	台	重量 (kg)	
可燃ごみ	882	1,413,350	13,408	1,313,290	14,290	2,726,640	
不燃ごみ	144	61,350	2,015	297,860	2,159	359,210	粗大ごみ含む
焼却灰	28	9,190	—	—	28	9,190	

表 15 ごみ収集と処理の状況（リサイクルプラザたいせつ）（kg）

	びん類	缶類	ペットボトル	プラスチック	紙類	布類	合計
令和5年度	74,280	34,320	29,690	61,440	0	0	199,730

表 16 社会福祉施設

施設名		定員		
保育所	常設	どんぐり	130人	
	ハき地	美田	—	※令和元年度から休所
	//	ルベシバ	30人	
	//	美沢	30人	
	//	下宇莫別	—	※令和2年度から休所
	//	朗根内	30人	
	//	置杵牛	—	※休所中
	//	旭	—	※休所中
児童館	なかよし児童館	—		
介護老人 保健施設	ほの香	入所 60人 通所 30人		

◎観光

美瑛町の観光は、雄大な十勝岳連峰の裾野に湧き出る白金温泉を起源とし、山麓に広がる波状丘陵地帯で営まれている農業の景観が人々に感動を与え、「丘のまちびえい」として全国的に有名になりました。

近年は、砂防整備によって生まれた「青い池」が、幻想的な風景が広がる観光スポットとして多くの観光客が訪れています。

表 17 観光客の入込客数（人）

	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
美瑛町全体	2,261,700	2,419,200	1,295,300	1,062,400	1,819,400	2,387,200
白金地区	931,364	1,284,123	543,809	511,637	720,469	718,076
四季の情報館	154,409	128,197	36,974	32,192	76,829	128,753
十勝岳火山砂防情報センター	12,819	13,879	7,351	5,892	9,032	11,959
道の駅びえい「白金ビルケ」※	299,496	278,581	189,356	162,411	231,066	226,378

※道の駅びえい「白金ビルケ」…（旧）白金インフォメーションセンターが、平成 30 年 5 月 12 日から道の駅びえい「白金ビルケ」としてリニューアルオープン。

表 18 美瑛駅乗車人員（人）

	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
乗車人員	179,215	173,118	123,370	120,450	120,085	126,290

◎イベント

町では 1 年を通じた交流人口の拡大や「丘のまちびえい」のブランド力向上を目的としたスポーツイベントを開催しています。6 月には「丘のまちびえいヘルシーマラン」、9 月には「丘のまちびえいセンチュリーライド」、2 月には「丘のまちびえい宮様国際スキーマラソン」を開催し、道内外のスポーツ愛好家へ四季折々に移りゆく美瑛の魅力を発信しています。



◎消防・警察

表 19 車両の状況（令和 6 年 3 月 31 日現在）

車両種類	ポンプ車	タンク車	水槽車	救急車	指揮車	人員輸送車	資機材搬送車
台数	7	1	2	2	1	2	3

表 20 救急活動の状況（令和 5 年 1 月 1 日～ 12 月 31 日）

事故種別	火災	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	自損行為	急病	転院搬送	その他	合計	1 日当
出動件数	2	42	14	5	111	4	445	76	2	701	1.9
搬送人員	1	45	14	4	106	1	420	76	0	667	1.8

◎教育・文化

美瑛町は地理的条件から学校数が増え、最も多い時には小学校 22 校、中学校 11 校の計 33 校を数えました。しかし、少子化に伴い児童生徒数が減少し、平成 11 年度には学校統合検討委員会が設置され、整備統合についての検討がなされました。その結果、現在は小学校 5 校、中学校 2 校の計 7 校まで減少し、児童生徒数は 610 人となっています。

図書館は、昭和 38 年に建設された公民館施設内に図書室として設置されたのが始まりで、昭和 54 年の大規模改修によって 1 階が図書館、2 階を郷土資料館として運用していました。しかし、建物の老朽化により新たな図書館・郷土資料館の建設が検討され、平成 24 年 6 月に新図書館がオープンしました。また、本町の郷土・自然及び天文について町民をはじめ多くの人々が学ぶことのできる施設として『丘のまち郷土学館「美宙」』が平成 28 年 7 月にオープンしました。



表 21 学校の状況（令和 6 年 5 月 1 日）

区分	学校数	学級数	教員数
小学校	5	48	84
中学校	2	19	45
高校	1	3	12

表 22 園児・児童・生徒数（令和 6 年 5 月 1 日）（保育所・幼保連携型認定こども園は令和 6 年 3 月 31 日現在）

区分		児童生徒数	年齢別						
			0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児		5歳児
保育所	2・3号認定	135	15	21	22	27	16	34	
幼保連携型 認定こども園	1号認定	94	—	—	5	8	10	13	
	2・3号認定		—	8	12	15	11	12	
区分		児童生徒数	学年別					うち特別支援	
			1	2	3	4	5		6
小学校		372	59	49	66	52	79	67	102
中学校		238	72	85	81				51
高校		50	17	10	23				

表 23 郷土学館の利用状況（令和 5 年度）

開館日数	308 日
入館者数	4,457 人
うち天文台	625 人
展示数	約 150 点
収蔵数	約 2,340 点

表 24 図書館の利用状況（令和 5 年度）

開館日数	297 日
入館者数	43,754 人
利用者数	16,237 人
総貸出冊数	78,592 冊
蔵書冊数	77,391 冊
町民 1 人当貸出数	8.4 冊
町民 1 人当蔵書数	8.2 冊